

学校法人 加計学園
平成18年度事業報告
【岡山理科大学】

I. 事業の概要（全般）

《申請関係》

- (1) 工学部生体医工学科並びに総合情報学部建築学科の設置届を提出しました。
- (2) 工学部電子工学科を電気電子システム学科に名称変更する学則変更届を提出しました。
- (3) 平成19年4月より総合情報学部コンピュータシミュレーション学科を募集停止しました。
- (4) 総合情報学部社会情報学科地域人間情報専攻及び情報社会システム専攻の専攻分離を廃止することに伴う学則変更届を提出しました。

《人事》

- (1) 任期満了に伴う副学長、学部長、研究科長の改選が行われ、副学長には教育研究担当として木村宏氏が、管理運営担当として児玉美智子氏がそれぞれ再任され、新たに教育研究担当として波田善夫氏が就任しました。
(平成18年4月1日)

また、理学部長には大谷槻男氏、総合情報学部長には山本英二氏がそれぞれ再任され、工学部長には堂田周治郎氏が就任しました。
(平成18年4月1日)

さらに、理学研究科長には竹中茂夫氏、総合情報研究科長には星野卓二氏がそれぞれ再任され、工学研究科長には富永敏弘氏が就任しました。
(平成18年4月1日)

《教育研究活動》

- (1) 大学基準協会による大学評価を実施し、大学基準に適合していることの認定を受けました。
(平成19年3月)

- (2) 医用科学教育センターで臨床工学技師国家試験の受験資格を得るための実習を開始しました。
(平成19年3月)

《施設・設備関係》

- (1) 社会連携研究推進事業の申請が採択されたことに伴い、社会連携研究センター並びに工学部生体医工学科、総合情報学部建築学科棟を合わせた第27号館が竣工しました。
- (2) 社会連携研究推進事業共同機器備品を購入しました。
- (3) サイバーキャンパス基盤ネットワークシステムを導入し、学内情報環境の整備を行いました。
- (4) 第一寮改修工事及び留学生男子寮の解体工事を行いました。
- (5) 新ICカード学生証の作成を行いました。

《組織関係》

- (1) 法人本部に総合企画局が設置されたことに伴い、企画入試部を入試部に変更、うち企画関係の定型業務を庶務部に移行しました。

II. 大学の概要

1. 学生の定員現員数

(平成18年5月1日現在)

研究科・学部・学科等		定員数		現員数				
		入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	合計
大 学 院	理学研究科(修士)	67	134	93	78	—	—	171
	" (博士)	13	39	8	2	6	—	16
	工学研究科(修士)	68	136	54	51	—	—	105
	" (博士)	5	15	2	3	5	—	10
	総合情報研究科(修士)	27	54	30	27	—	—	57
	" (博士)	2	6	6	4	1	—	11
	計	182	384	193	165	12	—	370
理 学 部	応用数学科	85	345	113	121	108	74	416
	化学科	75	337	64	88	84	119	355
	応用物理学科	75	301	62	84	59	91	296
	基礎理学科	80	324	93	117	88	92	390
	生物化学科	90	410	115	133	101	136	485
	臨床生命科学科	85	245	97	121	91	—	309
	計	490	1,962	544	664	531	512	2,251
工 学 部	バイオ・応用化学科	90	369	61	102	87	114	364
	機械システム工学科	90	355	80	117	113	89	399
	電子工学科	90	374	58	86	118	109	371
	情報工学科	110	434	114	125	129	104	472
	福祉システム工学科	—	140	—	—	77	64	141
	知能機械工学科	70	140	37	75	—	—	112
	計	450	1,812	350	505	524	480	1,859
総 合 情 報 学 部	情報科学科	90	375	70	116	91	126	403
	コンピュータシミュレーション学科	40	160	14	33	38	46	131
	生物地球システム学科	80	310	72	105	87	81	345
	社会情報学科	70	280	69	65	81	77	292
	計	280	1,125	225	319	297	330	1,171
(学部計)		(1,220)	(4,899)	(1,119)	(1,488)	(1,352)	(1,322)	(5,281)
	理学専攻科	30	30	—	—	—	—	—
	教職特別課程	50	50	13	—	—	—	13
合 計		1,402	5,283	1,325	1,653	1,364	1,322	5,664

(単位：人)

2. 学年暦

	春季休業	入学宣誓式	夏季休業	冬季休業	学年末休業	学位記授与式
岡山理科大学	4月1日 ～4月4日	4月3日	8月1日 ～9月19日	12月24日 ～1月7日	3月4日 ～3月31日	3月20日

Ⅲ. 各事業の概要

1. 教育・研究活動の進捗状況

- (1) 学内研究者の研究成果を地域産業界へ発信するため「OUSフォーラム」を開催（関連学園大学共催）しました。（出展数81件）更に岡山テクノサポートで開催された「岡山リサーチパーク研究展示発表会」（出展14件）また、東京においてのキャンパス・イノベーションセンター東京・科学技術振興機構主催「新技術説明会」に積極的に参加し（2件）産業界の好評を得ました。
- (2) 地域産業界を研究室に迎え、研究内容及び研究機器等を公開する岡山・産学官連携推進会議協同事業の『100研究室訪問』に協力しました。（2回）
- (3) 学内研究者の自己研鑽又は技術援助のため、地域産業界を訪問する岡山・産学官連携推進会議協同事業『100社訪問キャラバン隊』に参加しました。（23社）
- (4) 岡山県教育委員会からの委託公開講座（生涯学習大学）および連携公開講座（メダカとのふれあい：浅田伸彦教授2時間講義6回）を実施しました。
- (5) 外部資金（研究費）の獲得に向け、科学研究費補助金、各種財団の研究費補助金、岡山県の研究費補助金等の公募の申請を奨励ならび支援しました。（科研費；34件、約6千万円、各種補助金、受託研究、共同研究、寄附金；90件、約8千万円）
- (6) 学内研究者の研究成果の特許化を奨励しました。（発明提案数；6件）
- (7) 学内研究者を中国地域の『産学官連携功労賞』候補者に推薦した結果、功労賞を受賞しました。（新規）**
- (8) 学内若手研究者に産学官の若手が集まる『次世代交流会』の参加を勧め、若手企業人等との研究上の繋がりを強化しました。（10回）

《施設・設備整備関係》

(千円)

(1) 施設関係（総額617,645千円）

- | | |
|---------------------------------|---------|
| ①社会連携研究センター建築工事を実施しました。（4,760㎡） | 469,929 |
| ②第2・第7号館トイレ改修工事を実施しました。 | 8,700 |
| ③第一学舎2階物理学実験室改修工事を実施しました。 | 15,244 |
| ④第3号館トイレ改修工事を実施しました。 | 13,596 |
| ⑤第三学舎（旧理大会館）2階改修工事を実施しました。 | 7,900 |
| ⑥第三学舎（旧理大会館）3階改修工事を実施しました。 | 8,700 |
| ⑦第1寮改修工事を実施しました。 | 9,650 |
| ⑧第9号館1階OAフロア新設工事 | 3,200 |
| ⑨笹ヶ瀬グラウンド法面整備工事を実施しました。 | 2,038 |
| ⑩国際交流会館下水道切り替え工事を実施しました。 | 4,300 |
| ⑪御津国際交流会館改修工事を実施しました。 | 11,980 |
| ⑫笹ヶ瀬キャンパス連絡道路法面復旧工事を実施しました。 | 2,408 |
| ⑬半田町土地を購入しました。 | 60,000 |

(2) 環境整備関係（総額39,253千円）

- | | |
|--------------------------|--------|
| ①留学生男子寮解体工事を実施しました。 | 23,276 |
| ②第一学舎東側屋上防水工事を実施しました。 | 560 |
| ③第1号館窓枠サッシ取替工事を実施しました。 | 7,000 |
| ④自家発電設備の修理を実施しました。 | 3,017 |
| ⑤御津国際交流会館トイレ改修工事を実施しました。 | 5,676 |

《補助金関係》

(千円)

(1) 経常費特別補助等

①サイバーキャンパス基盤ネットワークシステムを実施しました。

64,148

(2) 共同研究設備関係

①社会連携研究推進事業共同機器備品を実施しました。

209,290

(3) 共同研究

①「オープン・リサーチ・センター」継続中です。

②「学術フロンティア推進事業」継続中です。

③「ハイテク・リサーチ・センター」新規採択されました。

④「社会連携研究推進事業」新規採択されました。

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧

(平成18年5月1日現在)

		入学者	留学生	社会人
大学院	博士	16	0	1
	修士	177	1	0
学 部		1,120	11	1
専攻科		—	—	—
教職課程		13	0	0

(単位：人)

卒業者数等一覧

		卒業 者	修了者 ・	退学者	満期退学者	除籍者	休学者	留年者
大学院	博士	9	1	1	0	0	0	0
	修士	147	13	13	0	3	0	0
学 部		1,296	198	198	0	17	79	306
専攻科		—	—	—	—	—	—	—
教職課程		13	0	0	0	0	0	0

(単位：人)

2. 学生の募集・広報

《入試》

- (1) 特別推薦入試における事前エントリー制の選抜対象に「総合学科選抜」を追加することで、専願入学者は増加しました。
- (2) SAC方式の受験者は前年SA3日目より減少したので2科目のSABに改良しました。
- (3) 入試区分毎の入試特待生（スカラーシップ）枠の変更により、特待生の入学手続き者が50名（前年17名）と増加し、高いレベルの学生確保ができました。

《広報》

(1) 新設学科の募集活動

高校訪問でのPRのほか、大学案内への特集記事掲載、リーフレット、HP、新聞告知、さらにTVCMによる告知、またターゲットを絞った受験生へDM発送など多岐にわたる広報活動をおこないました。

(2) オープンキャンパスの広報活動

広報活動の拡大（新聞告知・情報媒体の増発など）を行なった結果、年3回の実施で1,338名（前年度1,318名）と前年度を上回る参加がありました。特に保護者・教諭の参加が増えました。

(3) ホームページの充実

最新情報をトピックスなどで常時発信し、リピーターを増やすとともに他大学のWebページとの差別化を図りました。また、新学科Webページを作成、学部のトップページのリニューアルもおこないました。

(4) 年内入試に重点を置いた広報活動の継続

年内入試に重点を置いた広報活動を強化しました。具体的には、指定校の拡大、AO入試支局長推薦制度の導入、「専門高校・学科」を対象とした事前エントリー制に「総合学科」を追加、新聞等による告知頻度のアップなどを図りました。結果としては、志願者数が対前年比90%と苦戦しましたが、561名の入学者を確保しました。

3. 就職活動状況

■就職支援内容について

- (1) 就職ガイダンスについては、3年次生の5月末に第1回を行い、2月までに計6回実施しました。
- (2) 低学年から就職意識の向上を目的として低学年対象の進路・就職ガイダンスを行いました。
1年次生には4月の新入生オリエンテーション期間中に1回、2年次生には6月、11月、12月と3回実施しました。
- (3) 3年次生では就職模擬テストや就職筆記試験対策講座、業界セミナーなど就職試験対策や業界研究といった採用試験に向けての事前準備のセミナー類を行い、模擬試験・適性試験を2回、セミナーは延べ回数にして20回、対策講座は通年計画で21回行いました。
- (4) 学内で、3年次生・修士1年次生を対象とした内定報告会（内定者シンポジウム）を11月に実施しました。
- (5) 進路や就職に対する、意識の充実・向上のため、就職支援マガジン「ME (MAGAZINE FOR EMPLOYMENT)」シリーズの内容充実を図り、1年次生向け「Vol.1」(大学4年間の過ごし方)、2年次生向け「Vol.2」(進路について考える)、3年次生・M1次生向け「Vol.3」(就職活動実践テクニック)を作成し、ガイダンスで説明、配布を行いました。
- (6) 大学の就職支援内容を、高校生及び保護者並びに高校の進路指導者に周知することを目的に、入試合格者を対象に大学4年間の支援体制を、「Vol.0」としてパンフレットを作成し昨年同様に送付しました。
- (7) 2月には合同企業説明会として、約300社の採用担当者と3年次生が面談しました。
- (8) 教職員と採用担当者との情報交換を目的とした就職懇談会を関連校と共催で開催しました。
昨年度に続き首都圏における活発な雇用状況から、東京をはじめ、岡山、大阪、広島、福岡の計5都市にて開催しました。(企業数約1350社で1950名出席)
- (9) 4月には3、4年次生の学生と保護者を集めて「就職・進路懇談会」を実施し、356組が出席しました。
- (10) 就職情報誌主催の合同企業説明会等へバスで引率(大阪2回、広島1回)し、延べ200名を越える学生が参加しました。これらの合同企業説明会は、全国規模で展開する企業や、特殊分野の企業が参加しており、企業研究、就職活動への意欲向上に繋がりました。
- (12) 就職部ホームページに求人情報3300件(昨年比+17%)、学内・学外説明会情報などを掲載し、学生に広く情報を提供しました。
- (13) 学生の企業研究等に役立てるため、約10万件の企業情報を更新しました。

■就職率および就職率の推移(2007年3月20日現在)

- (1) 平成18年度の就職率は全体で97%となり昨年よりも2ポイント上がっています。
- (2) 学部別では理学部97%、工学部98%、総合情報学部98%となり、大学院全体では98%となっています。
- (3) 地域別就職先では関東22%、東海5%、近畿19%と都市圏での就職が17年度に引き続き回復・増加しました。また岡山県の割合は31%(+5ポイント)となりました。
- (4) 業種別就職先割合では、情報19%(+6ポイント)、機械11%(+4ポイント)、公務員4%(+1ポイント)などが増加し、サービス22%(-7ポイント)、卸売6%(-4ポイント)などが若干減少しています。

4. 財務関係

主な収入及び支出

(単位：千円)

年 度 科 目	17年度決算額	18年度決算額
学 納 金 収 入	8,844,665	8,173,552
補 助 金 収 入	1,122,910	1,531,070
そ の 他 収 入	459,654	370,631
帰 属 収 入 合 計	10,427,229	10,075,253
基本金組入額合計	△ 863,697	△ 746,392
消費収入の部合計	9,563,532	9,328,861
人 件 費	5,232,971	5,178,832
教 育 研 究 経 費	3,230,536	2,982,329
管 理 経 費	511,276	553,670
そ の 他 支 出	144,772	170,297
消費支出の部合計	9,119,555	8,885,128